

べ、こまかく両手を左右にふるわしながら下へ降して行く、雪の降る様。

強請ゆすりる 尻まくりの真似して、右手を「貰う」とばかりさし出す。

譲る (1)「任かせる」と同じ手まね。(2)「与える」と同じ手まね。

許す かまわない——寛大。

夢 掌を上向け五指をまるく屈めた右手を顔の近く前にして、手首でぐるぐる廻しながら斜め左上へあげて行く。絵やまん画に夢を見ているのを描いた煙様のものを模倣したもの。

### 三

酔う 「眩めまい」と同じ要領の手まね。顔の表情によって区別する。

用意 「整頓」と同じ手まね。先に整えて

おくこと。

用件(用事) 「必要」と同じ手まね。或は「相談」と同じ手まね。

洋行 西洋飛行機船 V行く。

養子 ^貰う上げる(与える) V息(娘)

洋食 掌を下に向け指頭を左にさした人差指と中指の右手。掌を下に下向け指頭を右にさした人差指と中指の左手、一方をナイフ、一方をフォークとなぞらえて料理を切る真似。

用心 「注意」と同じ手まね。

様子 五指の指頭を上にしし掌を前に向けた両手で、何にか或物の輪郭を模倣する身振。

幼稚園 遊戯をしているように両手を叩いては両手を左右に出して手をつなぎ合う真似をして—学校。

養父母 ほんとうに産むでない（違う）  
父母。

洋風 西洋に適する。

ような 「如き」と同じ手まね。

予科 掌で膝を叩たく。脚即ち土台をつくることからか？

予期 「想像」と同じ手まね。

預金 「金銭」を表わした手を前にさし出してから、掌を上向けた左手の上に郵便局の消印を握った姿態の右手を叩たき降す。

翌日、月、年 日、月、年——一つ未来。

浴場 「風呂」「温泉」と同じ手まね。

欲心 がめついで——心。

余計 多い——過ぎる。

像算 「象」と同じ手まね（「像」の文字のつくりから起った手まね）——会計。

善し（良し）拳にした手を鼻頭につけ鼻高を表わす。

予習 その前に——勉強。

寄算 両手の人差指で十字を形どり——算術。

術。

予想 「想像」と同じ手まね。

予定 「用意」「整頓」と同じ手まね。

世の中 「人々」を表わしてから、掌を下に向けた右手を胸左脇辺りから前方へ弧を描いて右へ。

予報 (1)「予報する」考えこてる——云々。

(2)「予報」外れる。「あて外れ」同じの手まね。

読む 新聞（或は「本」「手本」）を表して

から、掌を下に向け指頭を前方にさした人差指と中指の手を眼もとにして（視線）、二指を視線が文字を追うように、上下させる。

夜 五指の指頭を上になし掌を前向けた両手を顔の前で交叉しては左右に僅かに離しては交叉して前方を模索する身振り。「暗い」